

景気動向調査結果

この調査は、県内中小企業の景況・金融動向を把握するため、当協会の保証を利用されている企業の皆様のご協力により、四半期ごとにアンケートを実施しているものです。

【調査方法】

Webによる無記名アンケート方式

調査時点 令和8年6月1日発送

令和8年6月15日回答期限

調査対象 信用保証利用先3,000企業

有効回答数 455 企業（回答率 15.2%）

※ 当期：R08年4月～6月実績見込

次期：R08年7月～9月期予測

【DI値について】

◎回答の各構成比を算出し、「増加」・「好転」等の項目割合から「減少」・「悪化」等の割合を差引いて算出しています

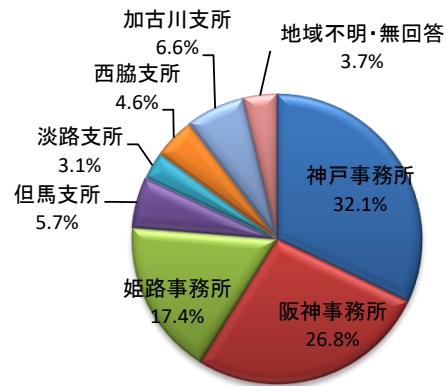
◎表示されている構成比とDI値は、四捨五入の関係で必ずしも一致しません

兵庫県信用保証協会

I. 貴社の概要について

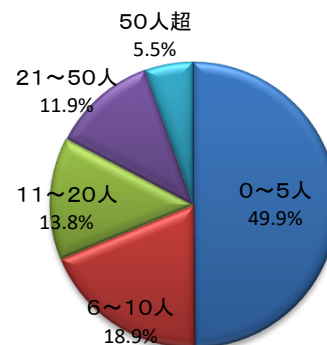
主たる事業所の所在地はどこにありますか。

当協会の部署	回答数	構成比
神戸事務所	146	32.1%
阪神事務所	122	26.8%
姫路事務所	79	17.4%
但馬支所	26	5.7%
淡路支所	14	3.1%
西脇支所	21	4.6%
加古川支所	30	6.6%
地域不明・無回答	17	3.7%
合計	455	100.0%



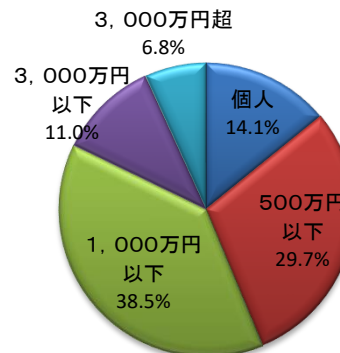
従業員数をご記入ください。

従業員数	回答数	構成比
0～5人	227	49.9%
6～10人	86	18.9%
11～20人	63	13.8%
21～50人	54	11.9%
50人超	25	5.5%
無回答	0	0.0%
合計	455	100.0%



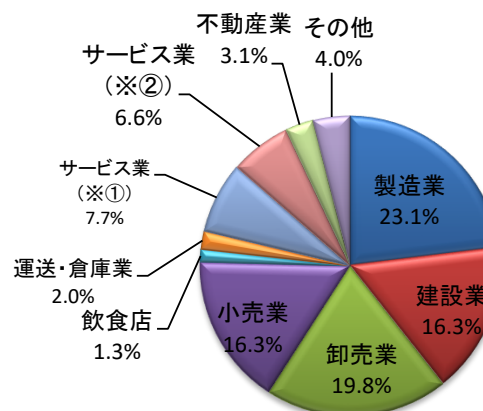
資本金をご記入ください。 ※個人は「0万円」と記入

資本金	回答数	構成比
個人	64	14.1%
500万円以下	135	29.7%
1,000万円以下	175	38.5%
3,000万円以下	50	11.0%
3,000万円超	31	6.8%
無回答	0	0.0%
総計	455	100.0%



主要な事業は以下のどの業種に分類できますか。

業種	回答数	構成比
製造業	105	23.1%
建設業	74	16.3%
卸売業	90	19.8%
小売業	74	16.3%
飲食店	6	1.3%
運送・倉庫業	9	2.0%
サービス業(※①)	35	7.7%
サービス業(※②)	30	6.6%
不動産業	14	3.1%
その他	18	4.0%
無回答	0	0.0%
合計	455	100.0%



※① 事業者を対象

※② 一般消費者を対象

Ⅱ. 貴社の景況、借入難易感についてお尋ねします。

- (1) 当期(26年4～6月期)は、前期(26年1～3月期)に比べどのような状況ですか。
 (2) 次期(26年7～9月期)は、当期(26年4～6月期)に比べどう思いますか。

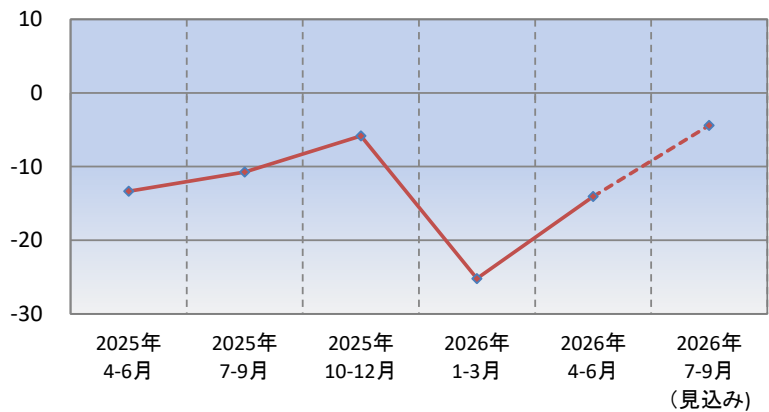
【生産・売上】

当期

選択肢	回答数	構成比
増加した	105	23.1%
変わらない	181	39.8%
減少した	169	37.1%
無回答	0	0.0%
総計	455	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
増加すると思う	121	26.6%
変わらないと思う	193	42.4%
減少すると思う	141	31.0%
無回答	0	0.0%
総計	455	100.0%



生産・売上DI(増加－減少)

調査時期(実績)	2024年 4～6月	2024年 7～9月	2024年 10～12月	2025年 1～3月	2025年 4～6月	2025年 7～9月	2025年 10～12月	2026年 1～3月	2026年 4～6月	2026年 7～9月 (見込み)
兵庫県	▲ 16.5	▲ 8.1	▲ 4.3	▲ 15.2	▲ 13.3	▲ 10.7	▲ 5.9	▲ 25.2	▲ 14.1	▲ 4.4

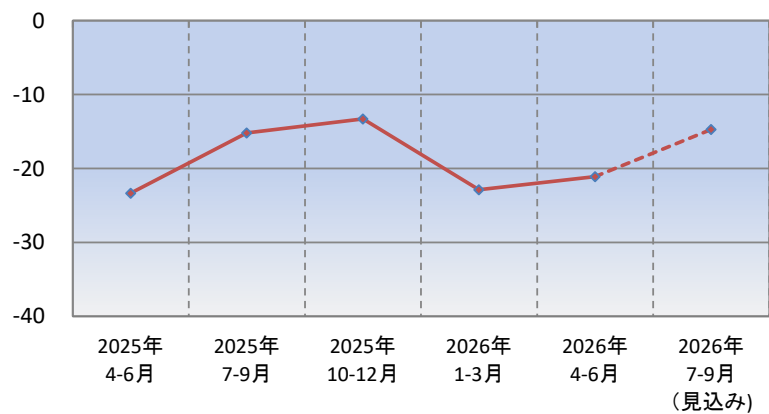
【採算】

当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	67	14.7%
変わらない	225	49.5%
悪化した	163	35.8%
無回答	0	0.0%
総計	455	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	77	16.9%
変わらないと思う	234	51.4%
悪化すると思う	144	31.6%
無回答	0	0.0%
総計	455	100.0%



採算DI(好転－悪化)

調査時期(実績)	2024年 4～6月	2024年 7～9月	2024年 10～12月	2025年 1～3月	2025年 4～6月	2025年 7～9月	2025年 10～12月	2026年 1～3月	2026年 4～6月	2026年 7～9月 (見込み)
兵庫県	▲ 23.8	▲ 19.2	▲ 14.5	▲ 15.4	▲ 23.3	▲ 15.2	▲ 13.3	▲ 22.9	▲ 21.1	▲ 14.7

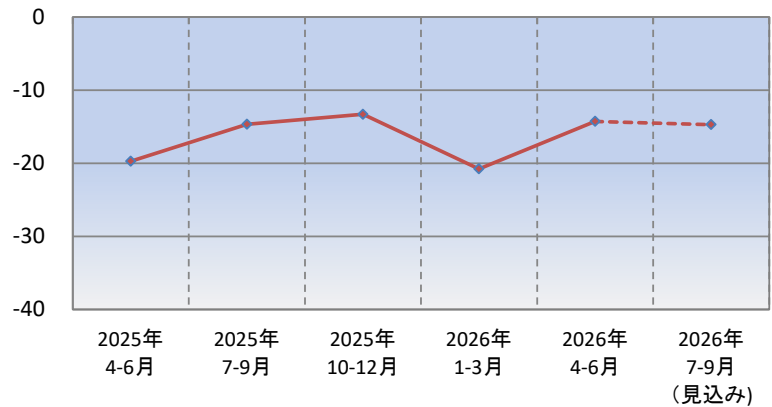
【資金繰り】

当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	46	10.1%
変わらない	298	65.5%
悪化した	111	24.4%
無回答	0	0.0%
総計	455	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	47	10.3%
変わらないと思う	294	64.6%
悪化すると思う	114	25.1%
無回答	0	0.0%
総計	455	100.0%



資金繰りDI(好転-悪化)

調査時期 (実績)	2024年 4～6月	2024年 7～9月	2024年 10～12月	2025年 1～3月	2025年 4～6月	2025年 7～9月	2025年 10～12月	2026年 1～3月	2026年 4～6月	2026年 7～9月 (見込み)
兵庫県	▲ 20.5	▲ 17.7	▲ 16.8	▲ 13.8	▲ 19.7	▲ 14.7	▲ 13.3	▲ 20.8	▲ 14.3	▲ 14.7

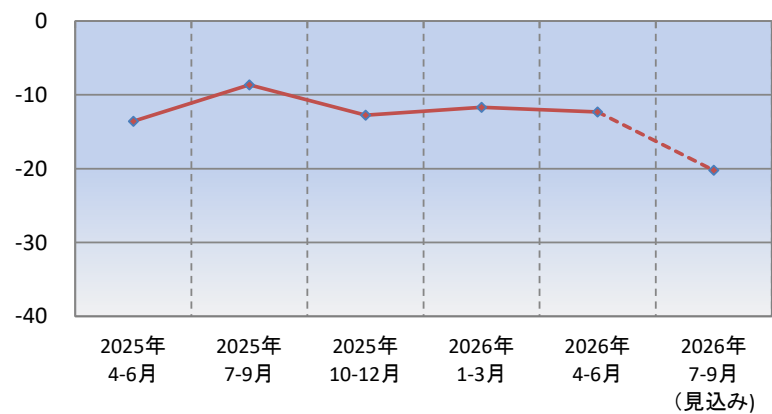
【借入難易感】

当期

選択肢	回答数	構成比
容易になった	22	4.8%
変わらない	355	78.0%
難しくなった	78	17.1%
無回答	0	0.0%
総計	455	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
容易になると思う	13	2.9%
変わらないと思う	337	74.1%
難しくなると思う	105	23.1%
無回答	0	0.0%
総計	455	100.0%



借入難易感DI(容易-難しい)

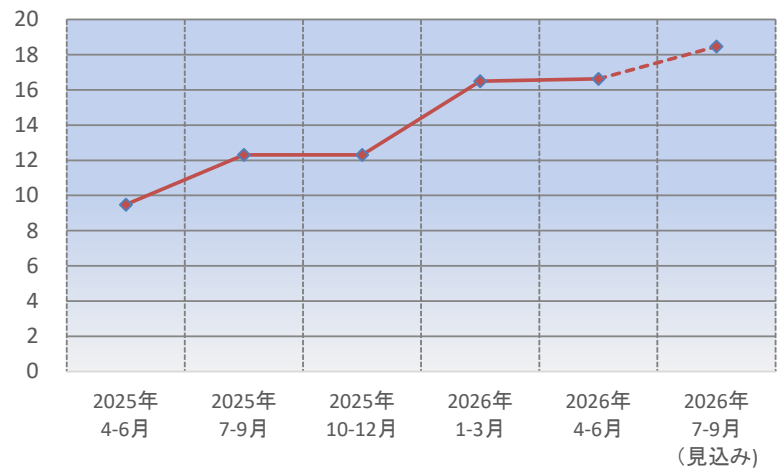
調査時期 (実績)	2024年 4～6月	2024年 7～9月	2024年 10～12月	2025年 1～3月	2025年 4～6月	2025年 7～9月	2025年 10～12月	2026年 1～3月	2026年 4～6月	2026年 7～9月 (見込み)
兵庫県	▲ 13.0	▲ 10.8	▲ 8.0	▲ 11.7	▲ 13.6	▲ 8.6	▲ 12.8	▲ 11.7	▲ 12.3	▲ 20.2

当期(4-6月)のDI値は、前期(1-3月)に比べ「生産・売上」「採算」「資金繰り」において改善し、「借入難易感」において悪化しました。
次期(7-9月)のDI値は、当期(4-6月)に比べ「生産・売上」「採算」において改善し、「資金繰り」「借入難易感」において悪化する見込みとなっています。

【金融機関からの信用保証付要請】

次期

選択肢	回答数	構成比
強まると思う	112	24.6%
変わらないと思う	315	69.2%
弱まると思う	28	6.2%
無回答	0	0.0%
総計	455	100.0%



信用保証付要請DI(強まる－弱まる)

調査時期 (見込み)	2024年 1～3月 (4～6月)	2024年 4～6月 (7～9月)	2024年 7～9月 (10～12月)	2024年 10～12月 (1～3月)	2025年 1～3月 (4～6月)	2025年 4～6月 (7～9月)	2025年 7～9月 (10～12月)	2025年 10～12月 (1～3月)	2026年 1～3月 (4～6月)	2026年 4～6月 (7～9月)
兵庫県	11.1	16.0	10.1	16.0	9.5	12.3	12.3	16.5	16.6	18.5

金融機関からの信用保証付要請は、「強まると思う」とする回答が、「弱まると思う」とする回答を上回っています。

Ⅲ.当期(26年4～6月期)の借入れ(実績見込)についてお尋ねします。

当期に金融機関から借入れをしましたか。
※手形の割引は含めません

	26年4～6月期		26年1～3月期	25年10～12月期	25年7～9月期	25年4～6月期
選択肢	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
借入れした	101	22.2%	20.8%	23.9%	28.0%	20.0%
借入れしない	354	77.8%	79.2%	76.1%	72.0%	80.0%
無回答	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
総計	455	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

当期の借入れは、前回調査と比べ、1.4ポイント増加しています。

当期に借入れした総額はいくらですか。

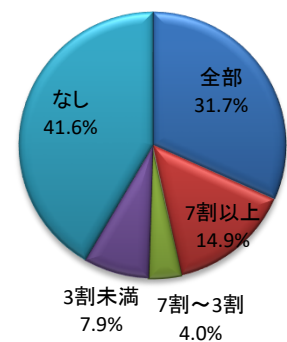
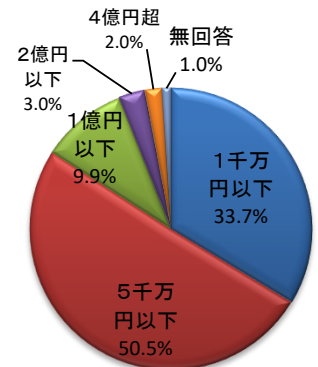
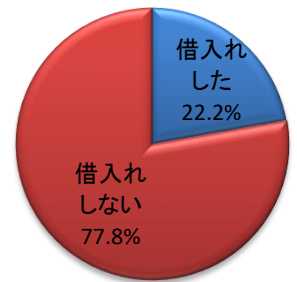
	26年4～6月期		26年1～3月期	25年10～12月期	25年7～9月期	25年4～6月期
借入れ総額	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
1千万円以下	34	33.7%	32.5%	26.7%	30.8%	34.6%
5千万円以下	51	50.5%	46.3%	43.3%	45.8%	47.4%
1億円以下	10	9.9%	15.0%	20.0%	14.0%	11.5%
2億円以下	3	3.0%	1.3%	5.6%	5.6%	2.6%
4億円以下	0	0.0%	3.8%	0.0%	1.9%	2.6%
4億円超	2	2.0%	0.0%	3.3%	1.9%	0.0%
無回答	1	1.0%	1.3%	1.1%	0.0%	1.3%
総計	101	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

当期の借入総額は、前回調査と比べ「5千万以下」が4.2ポイント増加し、「1億円以下」が5.1ポイント減少しています。

当期の借入金額のうち、信用保証付き借入れの割合はどのくらいですか。

	26年4～6月期		26年1～3月期	25年10～12月期	25年7～9月期	25年4～6月期
選択肢	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
全部	32	31.7%	42.5%	34.4%	29.0%	41.0%
7割以上	15	14.9%	2.5%	10.0%	5.6%	6.4%
7割～3割	4	4.0%	10.0%	17.8%	11.2%	10.3%
3割未満	8	7.9%	8.8%	5.6%	9.3%	3.8%
なし	42	41.6%	35.0%	30.0%	44.9%	37.2%
無回答	0	0.0%	1.3%	2.2%	0.0%	1.3%
総計	101	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

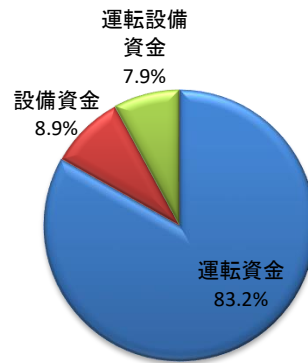
信用保証付き借入れの割合は、前回調査と比べ「全部」とする回答が10.8ポイント減少しています。



当期借入金の目的は何ですか。

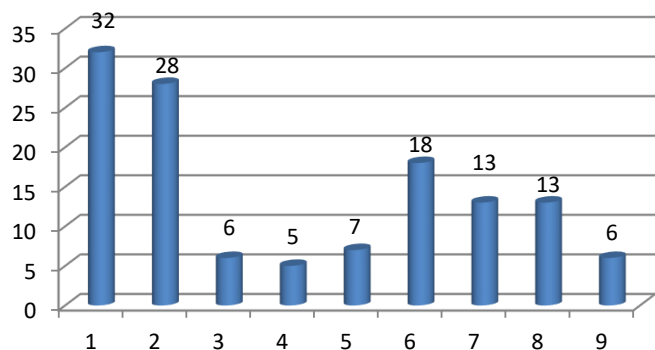
選択肢	回答数	構成比
運転資金	84	83.2%
設備資金	9	8.9%
運転設備資金	8	7.9%
無回答	0	0.0%
総計	101	100.0%

当期借入金の目的は、「運転資金」とする回答が大半を占めています。



上記で「運転資金」「運転設備資金」と答えた方は、運転資金の種類は何ですか(複数回答)。

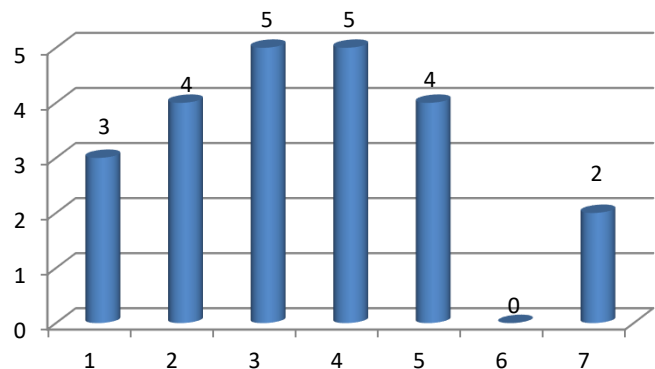
選択肢	回答数
1 既往借入の借換え	32
2 売上減少・赤字補填	28
3 過剰在庫対応	6
4 支払条件短縮対応	5
5 回収条件悪化対応	7
6 売上増加運転資金	18
7 在庫積み増し	13
8 季節運転資金	13
9 その他	6
総計	128



運転資金の種類は、「既往借入の借換え」が最も多く、次いで「売上減少・赤字補填」および「売上増加運転資金」となっています。

上記で「設備資金」「運転設備資金」と答えた方は、設備資金の種類は何ですか(複数回答)。

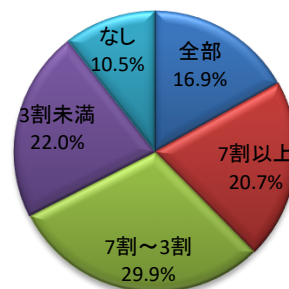
選択肢	回答数
1 新規事業	3
2 生産増強	4
3 合理化・効率化	5
4 設備老朽化に伴う入替	5
5 修理・修繕	4
6 公害防止・環境関連	0
7 その他	2
総計	23



設備資金の種類は、「合理化・効率化」「設備老朽化に伴う入替」が最も多く、次いで「生産増強」「修理・修繕」となっています。

IV. 信用保証の利用についてお尋ねします。当期末(26年6月末)借入総残高に占める信用保証利用の割合はどのくらいですか。

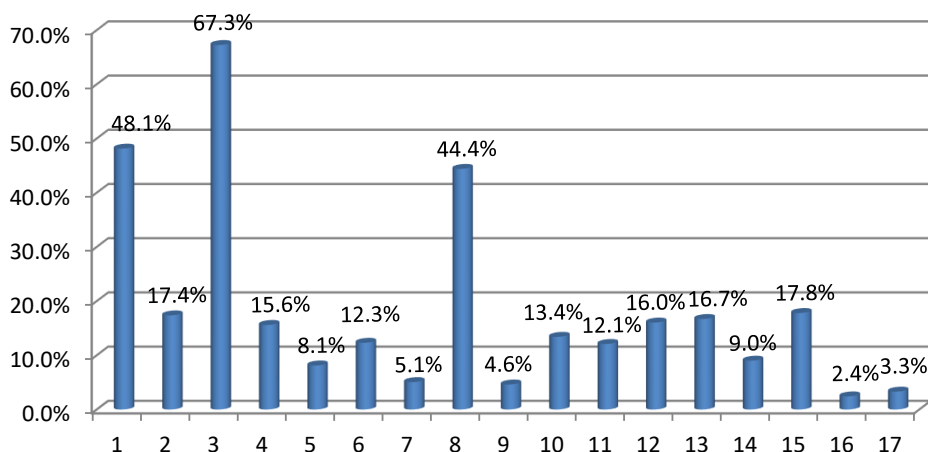
	26年4～6月期		26年1～3月期	25年10～12月期	25年7～9月期	25年4～6月期
選択肢	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
全部	77	16.9%	19.0%	16.5%	17.0%	18.5%
7割以上	94	20.7%	18.7%	26.1%	17.5%	19.2%
7割～3割	136	29.9%	32.5%	26.1%	31.9%	29.0%
3割未満	100	22.0%	19.7%	23.9%	22.5%	25.1%
なし	48	10.5%	10.1%	7.4%	11.0%	8.2%
無回答	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
総計	455	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



信用保証利用の割合は、「7割以上」「3割未満」「なし」とする回答が増加し、「全部」「7割～3割」とする回答が減少しました。

V. その他(経営上の課題等)について該当する番号をご記入ください(複数回答)。

選択肢	回答数	回答割合	選択肢	回答数	回答割合
1 売上・受注の減少	219	48.1%	9 過剰在庫	21	4.6%
2 競争激化	79	17.4%	10 設備投資	61	13.4%
3 コスト高	306	67.3%	11 後継者難	55	12.1%
4 業界構造変化	71	15.6%	12 資金調達	73	16.0%
5 取引条件の悪化	37	8.1%	13 借入過多	76	16.7%
6 消費者ニーズの多様化	56	12.3%	14 為替	41	9.0%
7 技術・商品開発	23	5.1%	15 海外情勢(中東等)	81	17.8%
8 人材・労働力の確保	202	44.4%	16 米国関税措置の影響	11	2.4%
			17 その他	15	3.3%



経営上の課題は、「コスト高」「売上・受注の減少」「人材・労働力の確保」が群を抜いて上位となっており、次いで、「海外情勢(中東等)」「競争激化」「借入過多」の順となっています。